

第3回香川県産業成長戦略に関する懇談会 議事録（要旨）

開催日時：平成30年1月31日（水）10:00～

開催場所：県庁本館21階特別会議室

出席委員：竹崎会長、八尾副会長、大津委員、岡田委員、久保田委員、竹内委員、長濱委員、原委員、正木委員、三矢委員、山本委員、（井原委員は所用のため欠席）

（会長）

- ・ 変更案について、意見はあるか。

（委員）

- ・ 今回の見直し案は、策定以降の5年間の環境変化を踏まえ、取り組むべき課題への対応が詳細かつ具体的に取りまとめられており、非常に充実した内容になったと思っている。
- ・ こうした成長戦略を持つことは、今後、個々の施策を進めていく上での重要なベンチマークになると考えている。また、成長戦略自体も環境変化に柔軟に対応して適切に見直すことが重要と考える。
P69の最後に「PDCAサイクルを繰り返すことの重要性」が追加されており、今回の見直し案に満足している。

（委員）

- ・ 全体については、良い案となったと思う。成長戦略からは外れるが来月の下旬から「空海」という映画が全国で公開される。仮に「空海ブーム」が起きた時に恩恵を受けるのが高野山だけにならないかを心配している。

（会長）

- ・ 「空海」に関して、県の方で何か考えがあれば。

（知事）

- ・ 「空海」という映画には注目しているところであるが、それが契機となって四国遍路八十八箇所の世界遺産登録などに繋がればと感じている。
また、人の賑わいも期待したい。宗教関係であるため、県の方で具体的なイベント等、映画との連携を取っていないが、ご指摘のあったような点を生かせるよう、県としても考えてみたい。

（会長）

- ・ 香川県だけでなく、四国遍路の世界遺産登録への動きは四国4県が共同で進めており可能な範囲で香川県をPRするために何か工夫ができればと思っている。

（委員）

- ・ 他の委員とほぼ同じ意見であるが、これまでの意見が適切に反映されており、前回の

懇談会の素案よりもさらにブラッシュアップされていると感じている。

- ・ 先程もあったが、今後は「P D C Aサイクルを適切に回していくこと」が重要と考えており、我々自身の戦略と置き換えて、活用したいと考えている。これまで以上に県と連絡を密にして、様々な施策の実施を通じ、香川県の成長に貢献していきたい。

(委員)

- ・ 今回の案については、幅広いテーマを取り扱っており、A I等の新たなキーワードも盛り込まれていて、バランスのよい時宜を得たものになっていると考えている。
- ・ 先程、「空海」という映画が話題に出たが、映画やアニメをきっかけとして、それ以外の地域の魅力を知っていただくことが重要であり、地域の資源とコンテンツの連携により、地域の良さを知ってもらう工夫ができるものもあるのではないかと考えている。
- ・ 本戦略を県では指針として活用すると思うが、いかに多くの県民の方にも戦略を浸透させるかが大事である。

(委員)

- ・ 第8章横断的戦略4「産業の成長を支える人材を育成・確保する。」で女性の就労促進についての記載があるが、障害者についての記載の追記を検討できないか。本日の新聞にも障害者の就労率が伸びていないという記事もあるので検討いただきたい。
- ・ また、事業の承継がこれから進むが少子高齢化のために、女性の事業承継者が増えていくようになれば、配慮もお願いしたい。
- ・ 「空海」については四国遍路八十八箇所グループと高野山のグループで別々に活動しているとの現状を聞いているので、経済団体の方でも、できるところから協力はしていきたい。

(会長)

- ・ ご指摘のあった障害者の就労に関する記述の検討については一任いただきたい。

(委員)

- ・ 全体的に的確な意見集約がされている。
- ・ 県内の中小企業、事業承継について施策の記載がある。これから、事業承継、P D C Aサイクルや中小企業の知的資産経営に対応できるような取組みが記載されている。
- ・ また、ベンチャー企業やニッチトップを牽引するような過去の成功体験をもつ方が、メンターとしてバックアップできるような支援体制が構築できれば、これから軌道に乗っていただけるのではないかと考える。

(委員)

- ・ 戦略については、十分に表現されていると考えている。今後、施策に取り組むうえでの3つの心配がある。
- ・ 1点目は「地域の観光コンテンツの発掘と醸成」である。インバウンドの好調の陰に隠れて、国内旅行が香川県で下落している。観光庁も「日本版DMO」の強化を盛んに言っているが、組織を作るためには、人材育成等に時間がかかることもあり、進んでいないので、一層強化していきたい。
- ・ 2点目は、高松空港が民営化した。懸念するのは国内・国際線での6路線の増を本当

にできるのか。新しい空港運営への期待は大きい。

- ・ 3点目は、インバウンドについて、これまではアジアの方々が中心だがこれからは欧米豪、滞在日数が長く、消費金額が高い欧米系の方々の呼び込みが重要と考えている。

(会長)

- ・ ご指摘のあった3点についての表現の仕方については、一任いただきたい。

(委員)

- ・ 戦略については、これまでの議論を踏まえて的確に取りまとめられている。戦略に基づいて県が実施すべきものについては、予算化をし、実施につなげることで経済が成長して財政にも恩恵があると思う。

本文の最後にも記載があるが、県だけで進めるのは難しいところもあると思うので、県民も含めた県全体で戦略を推進していくことが重要である。

企業や市町等にも戦略をPRし、共有して県全体で進めていただきたい。

(会長)

- ・ 今回、初めてご参加いただいた委員からも、全体について何かあるか。

(委員)

- ・ 特に第7章横断的戦略3に私共の考えは入っている。県内の市・町長にお会いし、様々な意見をいただいたが、同じ内容が今回の戦略にも随所に見受けられ、また、3つの戦略方針の1つにも海外に関するものが入っており、満足のいくものになっている。
- ・ 欧米については、まさにアジアのみならず欧米にいかにか打って出ることが重要である。宝はあるので、これをいかに磨くのが鍵になるのではないか。
- ・ P70の施策体系に「ネットワーク」というキーワードがいくつかある。様々な機関や自治体の連携が図られることが重要であり、今後とも横のネットワークを強化していきたいと考えている。

(副会長)

- ・ 成長戦略については、広範囲に詳細に県の特徴をダイナミックに捉えている。また、委員の意見が反映されている。
- ・ 後は実施であり、P69の最後にあるようにPDCAサイクルを繰り返し、随時確認しながら変化等に対応し、戦略を実施することが重要になってくる。可能であれば最先端のAIを適用して、戦略を高めてほしい。

(会長)

- ・ 全体について何かあるか。
- ・ 本日いただいたご意見の戦略への反映は、一任いただきたい。